

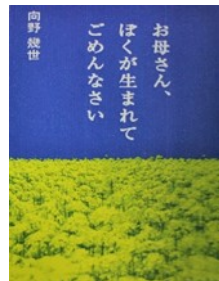


一般社団法人
うるわしの桜井をつくる会
〒633-0091 奈良県桜井市
桜井1259エルトさくら内
TEL&FAX:0744-43-7773
URL: http://lets.some.jp
E-mail: lets@some.jp

うるわし通信

平成29年11月

卑弥呼の里 芸術祭に参画を！！



11月25日（土）に桜井市立図書館で、『卑弥呼の里 芸術祭』が開催されます。
本年の奈良県で開催中の国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭の一体開催の趣旨を、桜井市でより具体化する取組みとして、うるわしの桜井をつくる会は実行委員会に加盟しています。重度の脳性まひを持って昭和36年に桜井市で生れた故山田康文さん（やっちゃん）の『お母さん ぼくが生まれて ごめんなさい』の作詩を契機に、このような思いを二度とさせない世の中を創り出そうとして、「たんぽぽの家」活動が始まり広がっていきました。そして、障害を持つ人々が作った詩にメロディーを付けて始まった音楽祭が「わたぼうしコンサート」として、今日に受け継がれてきています。

桜井は、まさにその原点の地であると言えます。今回の一体開催を受けて、障害がある人もない人も共に地域づくりを進めることを目的に、『卑弥呼の里 芸術祭』が実施されます。



芸術祭には、やっちゃんの詩を聞き取りされた向野幾世先生に参加頂き、詩の朗読をしていただくことが予定されています。『卑弥呼の里 芸術祭』の実施に向けて多くの協賛団体や、後援団体、協力団体の支援協力の下に実施されますが、初めての事業として準備や開催上の不十分点多々あると思われませんが、本会も実行委員会の構成団体として取組んでおり、会員の皆様の当日参加や運営協力に向けた参画をお願いしたいと思います。

スポーツを通じた平和な世界、人々の生きがいや連帯づくりにオリンピック・パラリンピックがあるように、障害の有無にとらわれない文化や芸術を通じた新たな取組みが実現できるように『卑弥呼の里 芸術祭』に期待していききたいと思います。

～障害のあるひともない人も ともに IN SAKURAI～

日時 平成29年11月25日（土曜日） 13時30分受付・開場14時開演 参加費無料

場所 桜井市立図書館

第1部 ひびき（和太鼓演奏）：チェリーフロッグス（コーラス）

庵前通世（ソプラノ）：丸谷千夏（マリンバ）：中村真紀子（ピアノ）

第2部 わたぼうしコンサート（たんぽぽの家）

なお、桜井駅北口～図書館を結ぶ、無料送迎バスが下記の通り運行されます。

桜井駅北口 発 12:30 13:00 13:30

（終了後）図書館 発 16:50 17:20

（編集子 楠木克弘）

【桜井市の魅力再発見】

11月に入り本格的な紅葉の時期が始まります。桜井市への観光客も増えるこの時期ですが、地元市民としても市内各地でおこなわれている諸行事を訪ねて、桜井再発見をしてみませんか。また、皆様からの『とっておきの桜井』を紹介ください。投稿もお願いします。

もみじまつり 総本山 長谷寺 10月14日（土）～12月3日（日）



もみじ茶会

11月11日（土） 9時30分～
先着500名様に無料薄茶ご接待
表千家同門会奈良県支部西窪社中
境内にある歓喜院にて

幽玄のつどい

1、豊山太鼓 奉納演奏

11月11日（土）12時・13時の2回公演
豊山太鼓「千響」による奉納太鼓演奏
本堂の内舞台にて 見学無料

2、津軽三味線奉納コンサート

11月25日（土）13時～14時 小山流名取
小山峰祥による三味線コンサート
本堂うち舞台にて 見学無料

東京フォーラムVI 「卑弥呼」発見！開催される。（10月29日） 「親魏倭王卑弥呼に制詔す」（～卑弥呼の外交～）



主催 桜井市

後援 読売新聞社・奈良県ビジターズビューロー
歴史街道推進協議会



台風22号が接近する中で、東京よみうりホールには関東圏から600余名の参加があり、熱心に講演やシンポジウムを聴講されていました。

土舞台顕彰事業の取組み

市内桜井公園（大字谷）にある土舞台は、我が国初の「国立劇場」並びに「国立演劇研究所」と伝わり、日本芸能の発祥の地とされています。『日本書紀』に、612年、百濟から帰化した味摩之（みまし）が「呉の国に学び、伎楽の舞ができます」と言うので、聖徳太子は桜井に住ませ、少年を集め伎楽の舞を習わせたとあります。このような由来から、毎年、土舞台顕彰会主催の野外音楽イベント「土舞台ユーラシアアンサンブル」が行われており、芸能の発展にも貢献した聖徳太子の精神を今に伝えています。



今年は、雨天のため飛鳥学院保育所を会場に、顕彰大祭とユーラシアアンサンブルのイベントが行われ100名近い方々の参加がありました。土舞台には「土舞台顕彰碑」が建てられており、顕彰碑の文字は、桜井市出身の評論家・保田與重郎（やすだ・よじゅうろう）氏の書によるものです。昭和47年の除幕式には、森繁久彌氏、岸田今日子氏などの芸能関係者も出席しました。

現在、地元谷で活動されている「ボランティアの会 土舞台」の紙矢和子会長は、「県内には、聖徳太子ゆかりの伝承地は、数多く存在しますが、桜井市の一押しは、「芸能発祥の地 土舞台」です。平成28年度、桜井市により土舞台に隣接する安倍山城跡の立木伐採整備が行われ大和平野を一望出来る素晴らしい眺望が得られました。皆さん、是非一度、この地を訪れ、美しい景色を眺めながら聖徳太子を偲び、時空を越えて歴史ロマンを味わってみませんか。皆さんのお越しをお待ちしています。」と呼びかけておられます。（奈良県記紀万葉HP 奈良で発見！聖徳太子ものがたりマップ > 聖徳太子が奨励した芸能発祥の地「土舞台」より）



紙矢和子会長

また、市内大字上宮にある上之宮遺跡は、聖徳太子が少年期から青年期にかけて過ごした上宮の推定地とされてきたこともあり、ここが上宮の跡ではないかと言われています。平成4年に桜井市の指定史跡となりました。園池遺構を原寸大で復元し、上之宮史跡公園として整備されています。* * 伎楽とは、古代チベットやインド発祥の仮面劇です。奈良時代の大仏開眼供養でも上演され、正倉院にはその時使用されたと思われる伎楽面が残されています。* *

お知らせ

●図書館友の会

11月の読書会は、「蒼氓（そうぼう）」石川達三／著を読みます。

第1回芥川賞受賞作。同時収録の『南海航路』、『声無き民』によって三部作を構成しており、国策としてブラジル移民が奨励されていた1930年が時代背景となっている日 時 11月28日（火）13：30から (Amazonカスタマーレビューより)

場 所 まほろばセンター市民活動交流拠点

問い合わせ先 浅川 肇 TEL：090-1961-6345

友の会会員以外の参加も歓迎します。



【編集後記】 ◆地域活性化の為に交流人口を増やす、そして観光に力を入れることが多くの自治体で推進されている。少子高齢化が一段と進み、定住人口の増加は、特に地方都市においては困難となる状況であるから。県内でも移住促進を重点としている町村も多い。◆桜井市では、年間約700万人の観光客数を公表してきているが、そこには日帰りの社寺参拝客も多く、観光？として地域経済への貢献がどの程度であるのか、宿泊客がどの程度なのか、正確な数値の把握は難しい。◆今回、【桜井の魅力再発見】というテーマで、様々な記事を掲載させて頂いた。桜井の活性化を願う多くの人々と共に、今後の諸課題を考えていきたい。

*交流人口とは、その地域を訪れる（交流する）人のこと。その地域に住んでいる人、「定住人口」に対する概念で、その地域を訪れる目的としては、通勤・通学、買い物、文化鑑賞・創造、学習、習い事、スポーツ、観光、レジャー、アミューズメントなど、内容を問わない。(K)

うるわし通信発行人
高瀬 安男
TEL:090-1678-9157